

子供たちの手で創りあげた合同運動会

原 賢志

令和5年度の運動会を、小・中学校合同で行うことができ、大変うれしく思っています。開催に向けて、9月2日のPTA環境整備作業では、4・5・6年生の保護者の皆様はじめ、加子母教育協議会、総合事務所（シルバーさん）、木匠塾の皆様にも、運動場・通学路・畑・校内を美しく整えていただきました。本当にありがとうございました。

おかげで、66名全員がよい環境の中で、自分のめあてに向かってがんばる姿をお見せすることができました。ありがとうございました。



<全校で「かしもんだンス」を披露>

さて、2年目となる小・中合同運動会でしたが、まだまだ暑い中での開催ですので、学校としては、子供たちの体調面を考え、時間が長くなることをとても心配していました。

運動会を運営し、創り出しているのは、4・5・6年生の係活動です。4・5・6年生は応援、出発（スタート）、決勝審判・採点、器具、放送の5つの係に分かれて、小学生の競技の準備や運営を行っていました。



競技が終わると、素早く器具を片付けて、次の競技のために器具を正確に並べたり、スタートの雷管を鳴らしたり、審判としてルール違反がないかを判断して順位を決め、旗で示したり、さらにはその得点を集計したり、競技に合わせて曲を選んで流したり、実況をアナウンスしたりしていました。

<順位を発表する決勝審判・採点係> 自分の出場種目が終わり、息も整わないうちに、係活動に走り出す姿もたくさん見られました。その頑張りがあった、各競技をスムーズに進めることができました。

自分たちの活動に誠実に取り組み、責任をもってやり切ったことで、予定通りに競技が進み、誰一人体調を崩すことなく、全校の笑顔を作り出すことができました。

運動会の翌週に行われた、係会（反省会）の中でも、「めあてにしていた、自分の役割がしっかりとできた。」「忘れずに、自分の役割が果たせた。」という言葉が子供たちから聞こえてきました。誠実にやることで、責任感が生まれました。子供たちの振り返りの言葉を借りると、「疲れたけど、とても楽しかった。」という、達成感をも生み出した素晴らしい運動会となりました。

◇「加子母のことをよく知って、好きになってほしい…」（学校運営協議会より）

この秋は、いろんな地域行事が再開されています。22日（金）の下校時に、「明日は、何の日でしょうか?」と尋ねると、大半の子供たちが挙手して、「水無神社のお祭り!!」と声が返ってきました。お祭りが今年は再開されるということで、子供たちも楽しみにしていたようです。中学生は巫女として舞を、小学生も、白装束で神事に参加していました。早朝から、弓道や剣道などを神社に奉納した子もいました。新しくなった山車を見学したり、屋台を楽しんだりする子もたくさんいました。



<神事に参加する小学生>

参加の仕方は様々ですが、地域の活動に積極的に参加し、詳しく知ったり、活動に込められたのを感じたり、郷土を誇りに思ったりできるようになるとよいと思います。先日の、学校運営協議会でも子供たちには、「郷土のことをよく知って、好きになってほしい」という意見が多く出されていました。学校では、これからも地域学習やこの地域だからできる豊かな体験学習などを進めていきたいと考えています。